石工

LE MACON

ルイ・ベルトラン　Louis Bertrand

青空文庫

石工の長曰く、見よ、この稜堡を、この支柱を。
末代までの固と人はいふらむ。

シルレル「ヰルヘルム・テル」

石工アブラハム・クップフェルは鏝を片手に足場の上で歌つてゐる。隨分高く登つたものだ。大鐘の銘の文句を讀んでると、飛迫控の三十もあるこの御堂、御堂の三十もあるこの市と、同じ高さに足が來てゐる。

ここに見る石鬼の樋嘴は石葺屋根の水を吐き出して、臺に、窓に、隅折上に、鐘樓に、櫓に、軒に、足場に、この入り雜つた深穴へ落すのだ。そこに鼠色の一點と見えるのは、廣げた儘のぎざぎざした兄鷹の鷹の羽。

眼の下には、星形に切り開いた堡壘、菓子の身の雌鷄よろしくふん反り返つた城砦、噴水の涸れてゆく御殿の中庭、陰は常に柱を心に移動する僧院の　廊。

皇帝の軍隊が郊外に宿營してゐる。あすこに一人の騎兵が太鼓を調べてゐる。アブラハム・

クップフェルの處からも、あの三角帽、赤絲肩章、前立（まへだち）、色布（いろぎれ）で結（ゆわ）いた辮髪の見別がつく。

また其上に一群の兵隊が眼に入ひる。逞ましい枝振の羽根飾（はねかざり）をした遊苑に、深緑の廣々した芝生の上で、竿の端に置いた木製の鳥を覘（ねら）つて火繩銃の射的をしてゐる。

さてその夜ここの伽藍の釣合のよく取れた本陣が、十字架形に腕を廣げて眠るとき、梯子の上から、はるかに遠くを望めば、軍兵たちが燒打にした一村の焔が夜天に尾を曳く彗星のやうだ。

青空文庫情報

底本：「上田敏全訳詩集」岩波文庫、岩波書店
1962（昭和37）年12月16日第1刷発行
2010（平成22）年4月21日第38刷改版発行
初出：「芸文　六ノ三」
1915（大正4）年3月
※原題「〔LE MAC,ON〕」は、ファイル冒頭ではアクセント符号を略し、「LE MACON」としました。
入力：川山隆
校正：岡村和彦
2012年11月2日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

石工
LE MACON

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

著者　　ルイ・ベルトラン　Louis Bertrand
URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/